

2024年11月13日

各位

会社名 ログリー株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉永 浩和
(コード番号: 6579 東証グロース)
問合せ先 取締役CFO 岸本 雅久
(TEL. 03-6277-5617)
(URL. <https://corp.logly.co.jp/>)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月13日に公表致しました、「2024年3月期 決算短信[日本基準](連結)」における2025年3月期通期の連結業績予想値を達成することが、適時開示の基準に照らして困難となったため、通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期業績予想値の修正 (2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想値 (A)	百万円 1,896	百万円 △38	百万円 △39	百万円 △46	円 銭 11.37
今回発表予想値 (B)	1,577	△153	△157	△164	△43.19
増減額 (B-A)	△318	△114	△117	△117	
増減率 (%)	△16.8%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	2,054	△2	△2	△46	△12.53

2. 修正の理由

当社の主力事業である「LOGLY lift」はインターネット広告市場の中の「ネイティブ広告業界」に属しており、広告主（代理店を含む）の広告効果最大化や媒体社（以下メディア）の満足度向上を実現することで、ここ数年続いているインターネット広告市場において厳しい価格競争や広告表記健全化等のコンプライアンス対策に対応してまいりました。しかしながら、ネイティブ広告業界の低迷はより拡大し続け、結果として当社においても、第1四半期から第2四半期にかけて急激に広告取扱高が減少しCPC（広告クリック単価）も低迷を続けた結果、第2四半期累計での当期業績予想に対する売上高の進捗率は40.8%と低迷しました。更に売上高が大幅に低迷したため、第2四半期累計で営業利益が△88百万円（当初通期業績予測△38万円）、親会社株主に帰属する当期純利益△95百万円（当初通期業績予測△46百万円）となり、期末に向けてビハインドを取り戻すことが困難となるため、通期業績予想の修正を行うことを決定しました。

なお通期業績予想を修正するにあたり、まず売上高に関しては、低迷を続ける広告案件とCPCを短期的に回復させることは困難であるため、まずは、メディアへの営業を強化し、インプレッション数の維持を行いつつ、収益性が高い広告枠に対して配信していくことでマージン額の確保を行うことを注力していきます。また固定費に対しては第3四半期より本社移転の地代家賃の減額効果が表れ、更に人員を必要最低構成で活動を続けることで人件費の抑制効果もあり、既存事業のみであれば、ログリーグループ全体の収益が赤字を脱却する見込みとなっております。しかしながら、根本的な課題であるネイティブ広告業界の低迷という大きな外部環境の課題をいち早く解決するために、新規事業への活動を活発化させたことにより赤字が先行し、営業利益並びに経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が大幅に低下いたします。

以上の結果、当初の通期業績予測に対して売上高は318百万円減（この内、ほぼ全てがLOGLY liftによるもの）の1,577百万円、営業利益は114百万円減の△153百万円、経常利益は117百万円減の△157百万円となります。

以上